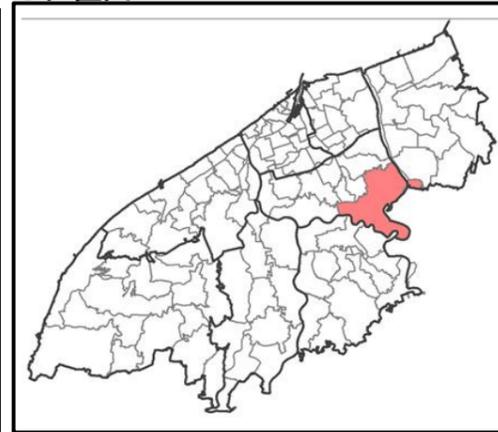


様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

茜ヶ丘	沢海	
阿賀野1・2丁目	沢海1～3丁目	
いぶき野1・2丁目	二本木	
うぐいす1・2丁目	二本木1～5丁目	
木津	平山	
木津1～5丁目	藤山	
木津工業団地	藤山1・2丁目	
小杉	横越	
小杉1～5丁目	横越上町1～5丁目	
駒込	横越川根町1～5丁目	
駒込1・2丁目	横越中央1～8丁目	
十二前	横越東町1・2丁目	

●位置図

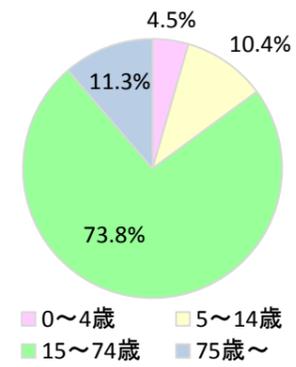


●施設・団体

市役所・区役所等	横越出張所
警察・消防	横越駐在所、沢海駐在所／江南消防署横越出張所
消防団	江南方面隊 横越分団
水防倉庫	横越、河川防災ステーション
一時避難場所	小杉農村公園、うぐいす公園、処分場運動広場、藤駒農村公園、横越川根町第2公園、横越第1みどり公園、茜ヶ丘公園、いぶき野公園、横越中央西公園、横越中央東公園、横越農村公園、いなほ公園、横越さつき公園、二本木ことぶき公園、第1やすらぎ公園、木津農村公園
広域避難場所	—
主 利 な 用 要 施 配 設 慮 者	幼稚園・ 保育園 よこごしなかの保育園、横越小杉保育園、横越中央保育園、横越双葉保育園 高齢者 福祉施設 にこやか、横雲の里、マチュアハウス横越 障がい者 福祉施設 のぎくの家

●人口

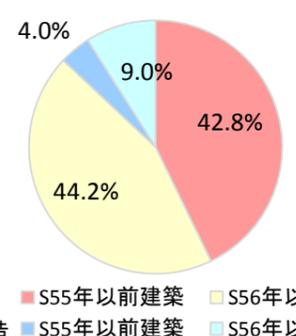
総人口	12,161人	地区の割合	市の割合
0～4歳	544人	4.5%	4.0%
5～14歳	1,267人	10.4%	8.5%
15～74歳	8,976人	73.8%	74.6%
75歳～	1,374人	11.3%	12.9%
65歳以上人口	2,690人	22.1%	26.0%
世帯数	4,139世帯		
一世帯あたり人口	2.9人／世帯		2.5人／世帯
人口密度	513人／km <sup>2</sup>		1,108人／km <sup>2</sup>
昼間人口	10,106人	夜間の83.1%	



●建物関連指標

総棟数	6,781棟	地区の割合	市の割合
木造			
S55年以前建築	2,902棟	42.8%	44.2%
S56年以降建築	2,997棟	44.2%	46.7%
計	5,900棟	87.0%	90.9%
非木造			
S55年以前建築	270棟	4.0%	3.4%
S56年以降建築	611棟	9.0%	5.7%
計	882棟	13.0%	9.1%
S56年以降建築物	3,609棟	53.2%	52.4%

S55年以前:主に旧耐震 S56年以降:主に新耐震  
※集計時に端数処理をしたため、合計値があわないことがあります。



●地区内の避難所・津波避難ビルなど

施設名 [ヒ]:避難所、[ツ]:津波避難ビル・場所	標高 (m)	階 数	避難可否			
			地震	津波	洪水	土砂災害
[ヒ]横越小学校	5.3	3	○	—	2階以上	—
[ヒ]横越中学校	4.6	3	○	—	2階以上	—
[ヒ]横越中央保育園	4.4	2	○	—	2階以上	—
[ヒ]横越総合体育館	4.3	1	○	—	×	—
[ヒ]横越地区勤労者総合福祉センター	4.1	1	○	—	×	—
[ヒ]横越小杉保育園	4.2	1	○	—	×	—
[ヒ]小杉地区コミュニティセンター	4.2	2	○	—	2階以上	—
[ヒ]横越体育センター・ 二本木地区コミュニティセンター	3.5	1	○	—	×	—
[ヒ]木津地域研修センター	4.4	1	○	—	×	—
[ヒ]横越双葉保育園	4.0	2	○	—	2階以上	—
[ヒ]横越農村環境改善センター	6.8	2	○	—	2階以上	—

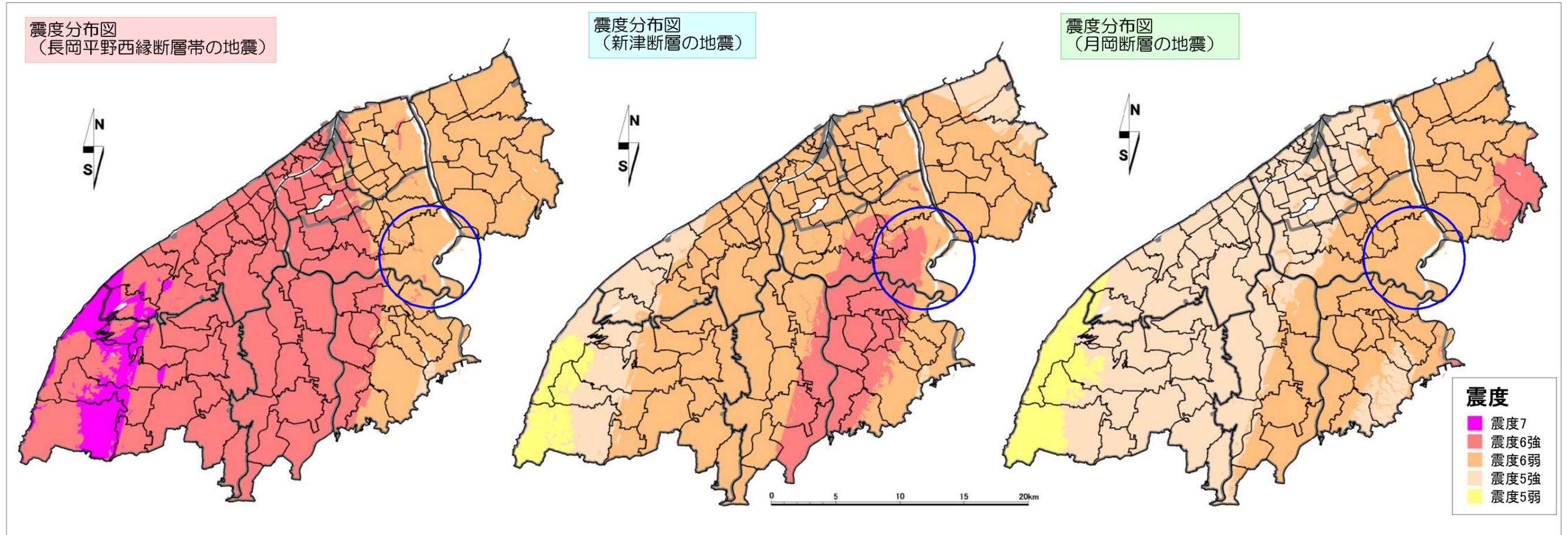
●地区外の避難所・津波避難ビルなど

施設名 [ヒ]:避難所、[ツ]:津波避難ビル・場所	標高 (m)	階 数	避難可否			
			地震	津波	洪水	土砂災害
[ヒ]丸山小学校	5.6	4	○	—	全階可	—
[ヒ]大江山中学校	8.6	4	○	—	全階可	○
[ヒ]岡方第一小学校	3.9	4	○	—	2階以上	—
[ヒ]岡方中学校	4.0	2	○	—	2階以上	—
[ヒ]岡方コミュニティセンター	4.2	1	○	—	×	—
[ヒ]越岡保育園	4.1	1	○	—	×	—
[ヒ]荻川コミュニティセンター	2.9	2	○	—	2階以上	—
[ヒ]結小学校	4.3	4	○	—	2階以上	—
[ヒ]結幼稚園	4.3	1	○	—	×	—
[ヒ]新津第二中学校	4.2	4	○	—	2階以上	—
[ヒ]満日小学校	7.1	3	○	—	2階以上	—

避難の可否(災害ごとに表記):開設する施設を「○」・避難可能な階数、開設しない施設を「—」、避難に適さない施設を「×」

●災害危険性の評価

津波	地震	地区の大部分が軟らかい地盤の上に分布するため、大きい地震の時には、強い揺れの可能性がある。また、かつて水田として利用されていた地域では液状化の危険性は高い。阿賀野川では、津波による水位の上昇が想定されている。
土砂	水害	阿賀野川の洪水、安野川の洪水、鳥屋野瀧流域及び小阿賀野川・能代川の洪水によって、浸水の可能性がある。特に、阿賀野川、鳥屋野瀧流域の洪水では、地区の広い範囲で浸水が予想される。



	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年  断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。  月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上  断層の活動性 0.4m/千年程度

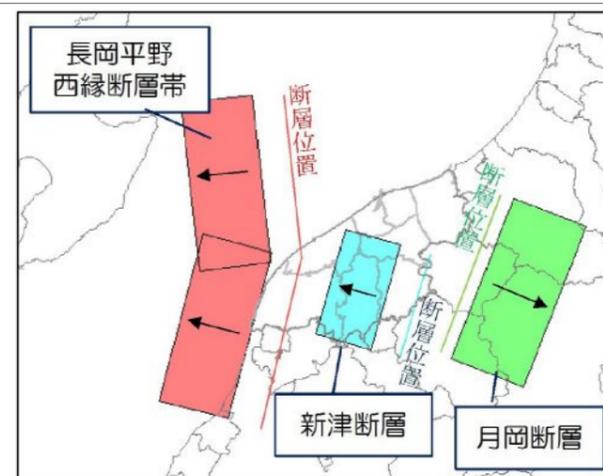
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

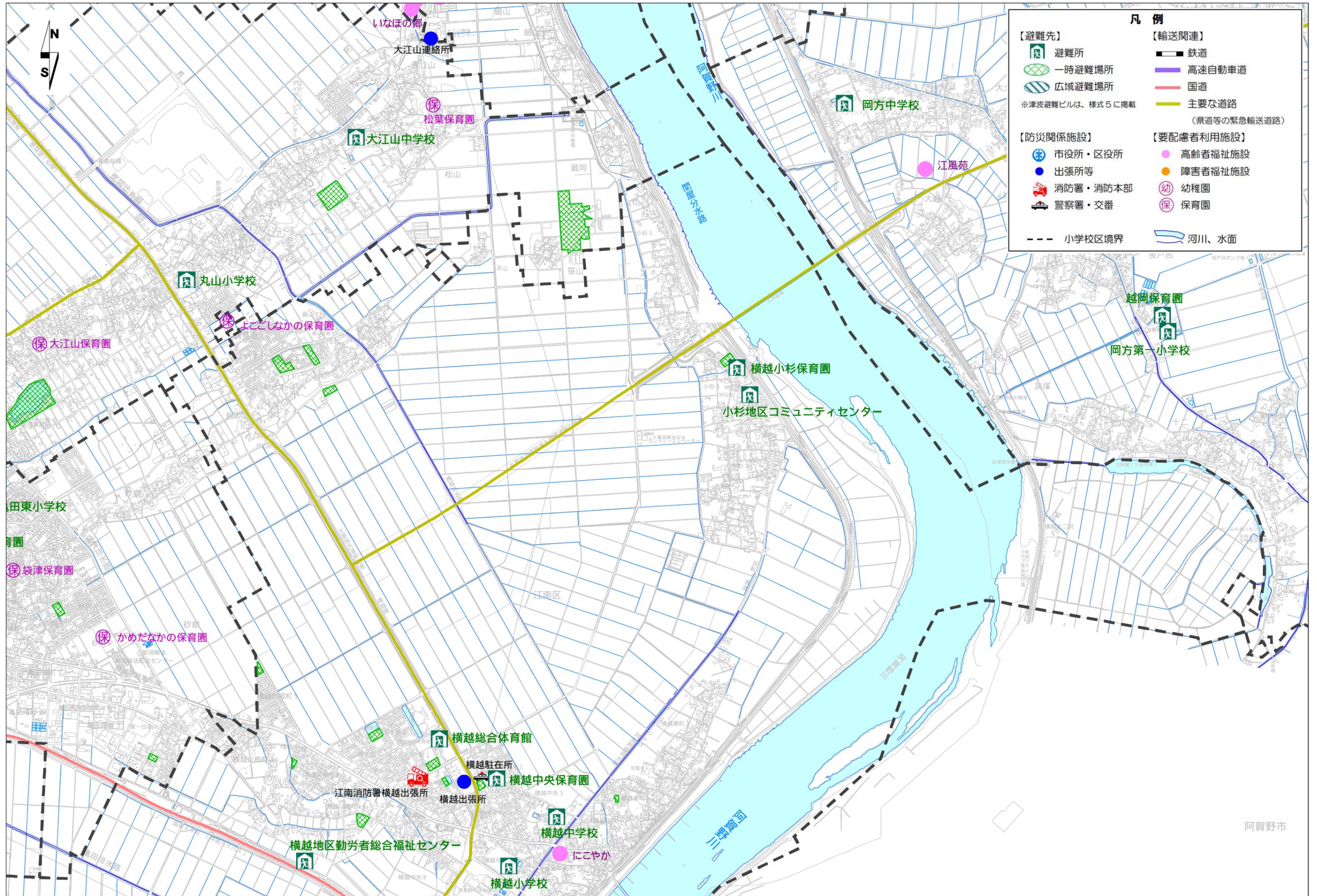
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。



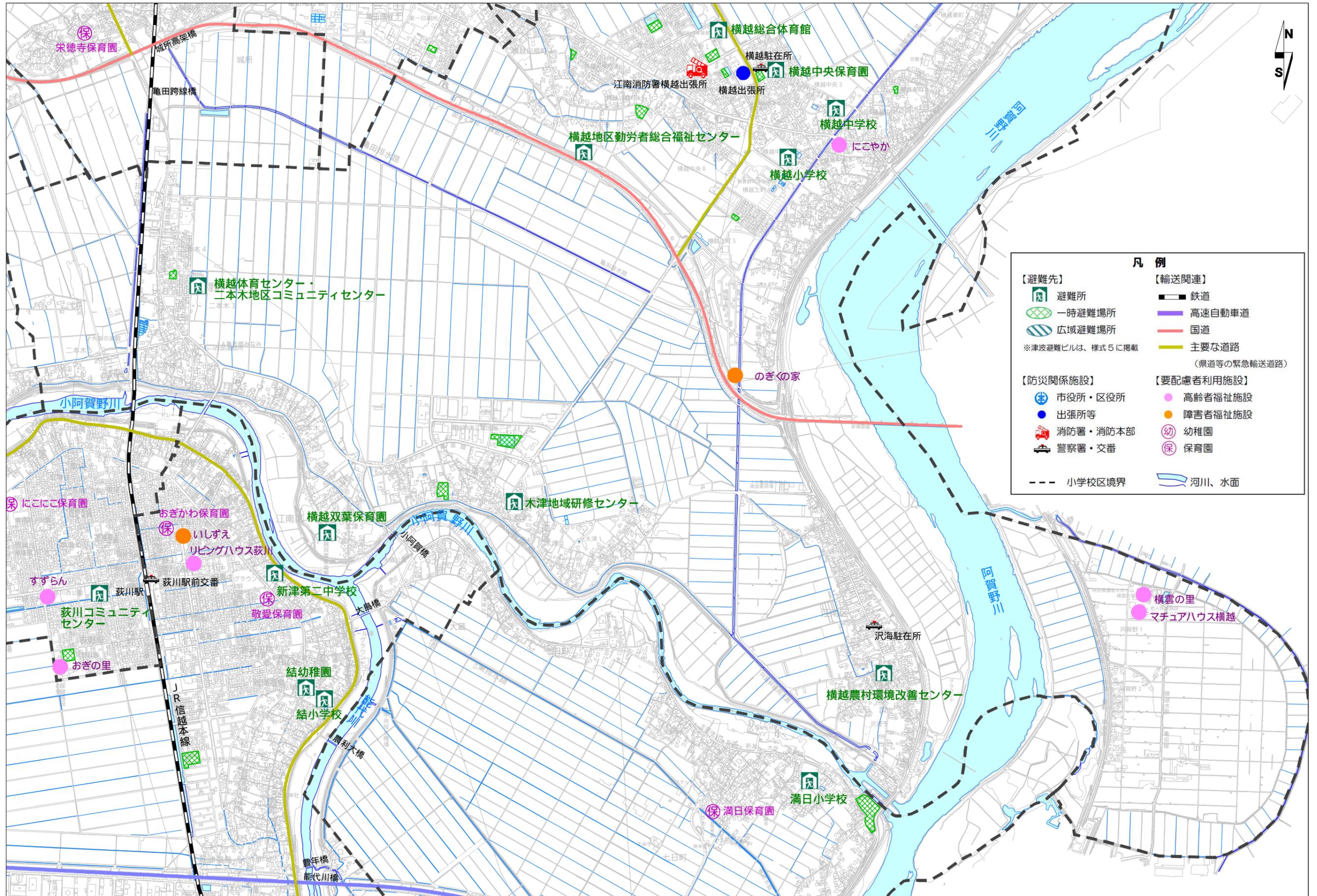
← は、断層の傾きを示しています。



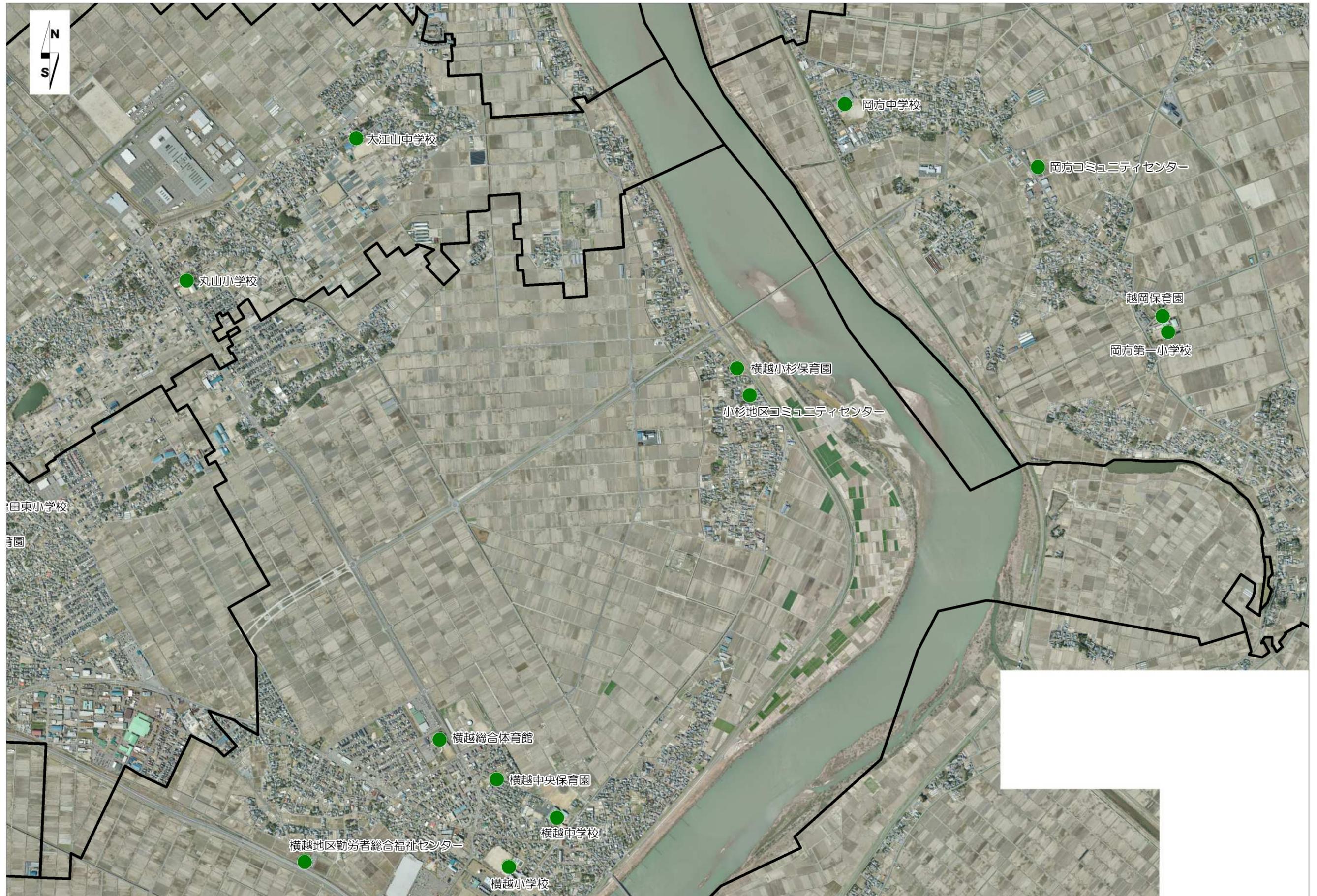
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)

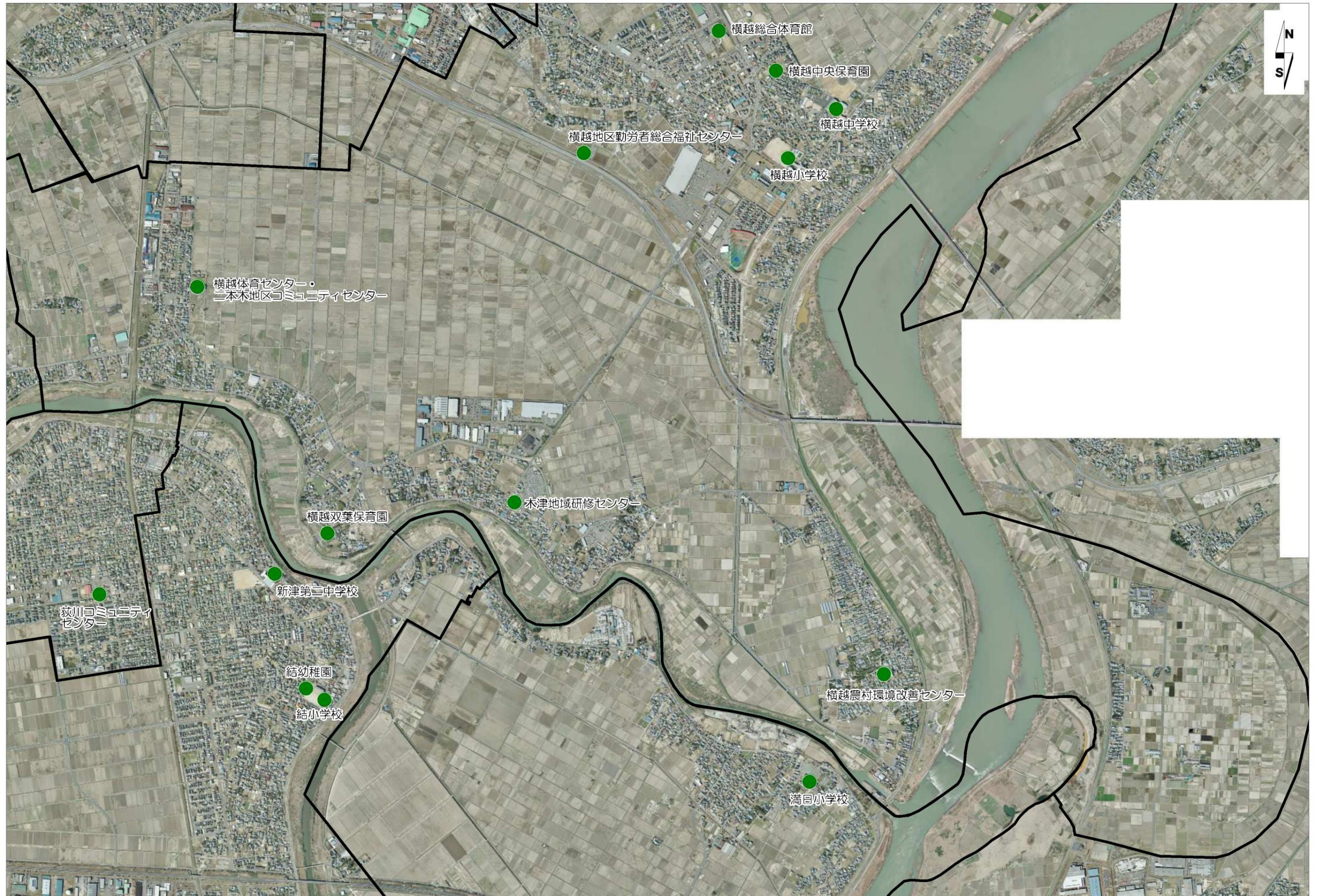


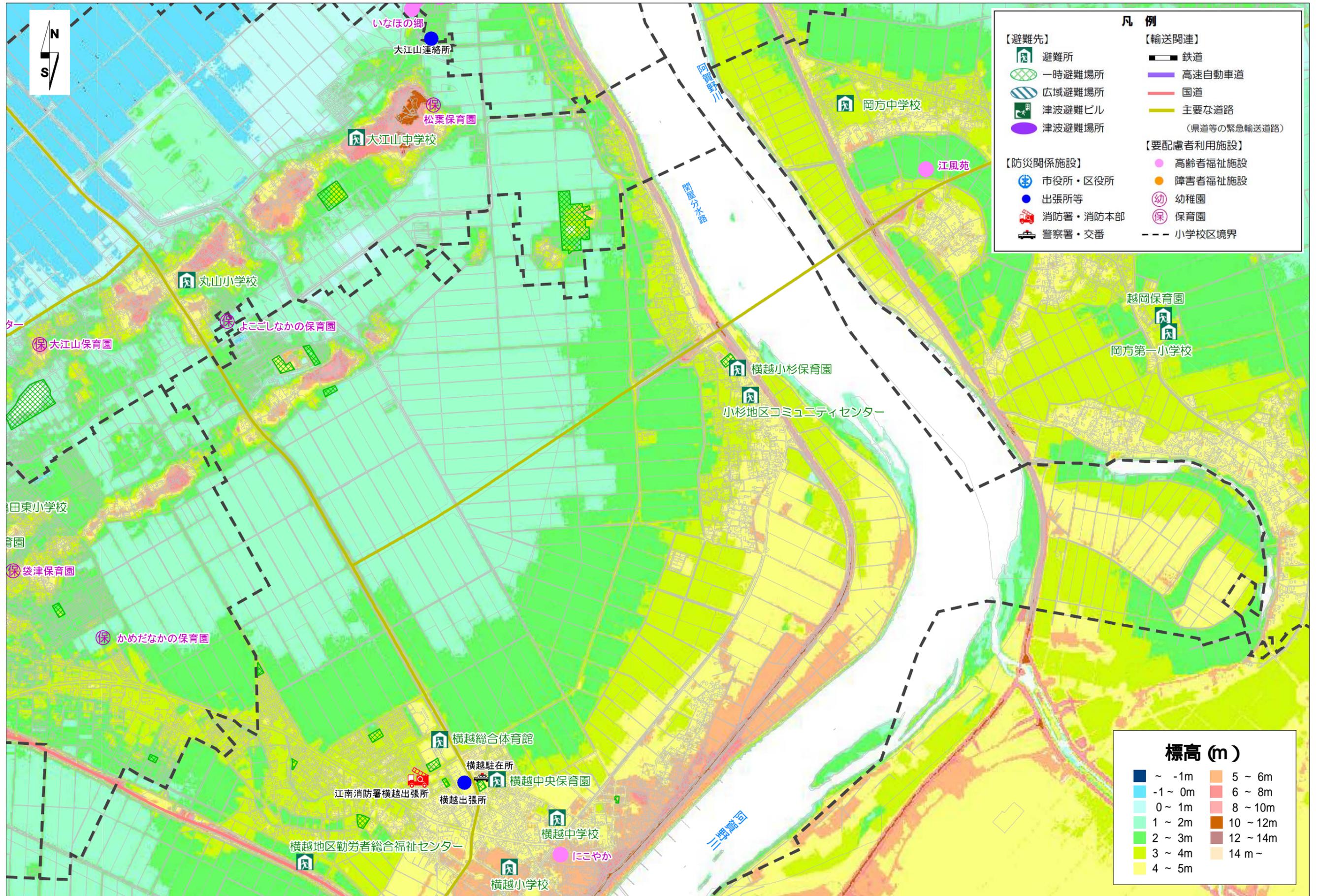
阿賀野市



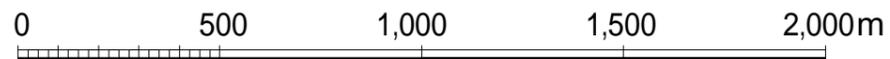
凡例	
【避難先】	【輸送関連】
避難所	鉄道
一時避難場所	高速自動車道
広域避難場所	国道
<small>※津波避難ビルは、様式5に掲載</small>	主要な道路 (県道等の緊急輸送道路)
【防災関係施設】	【要配慮者利用施設】
市役所・区役所	高齢者福祉施設
出張所等	障害者福祉施設
消防署・消防本部	幼稚園
警察署・交番	保育園
小学校区境界	河川、水面

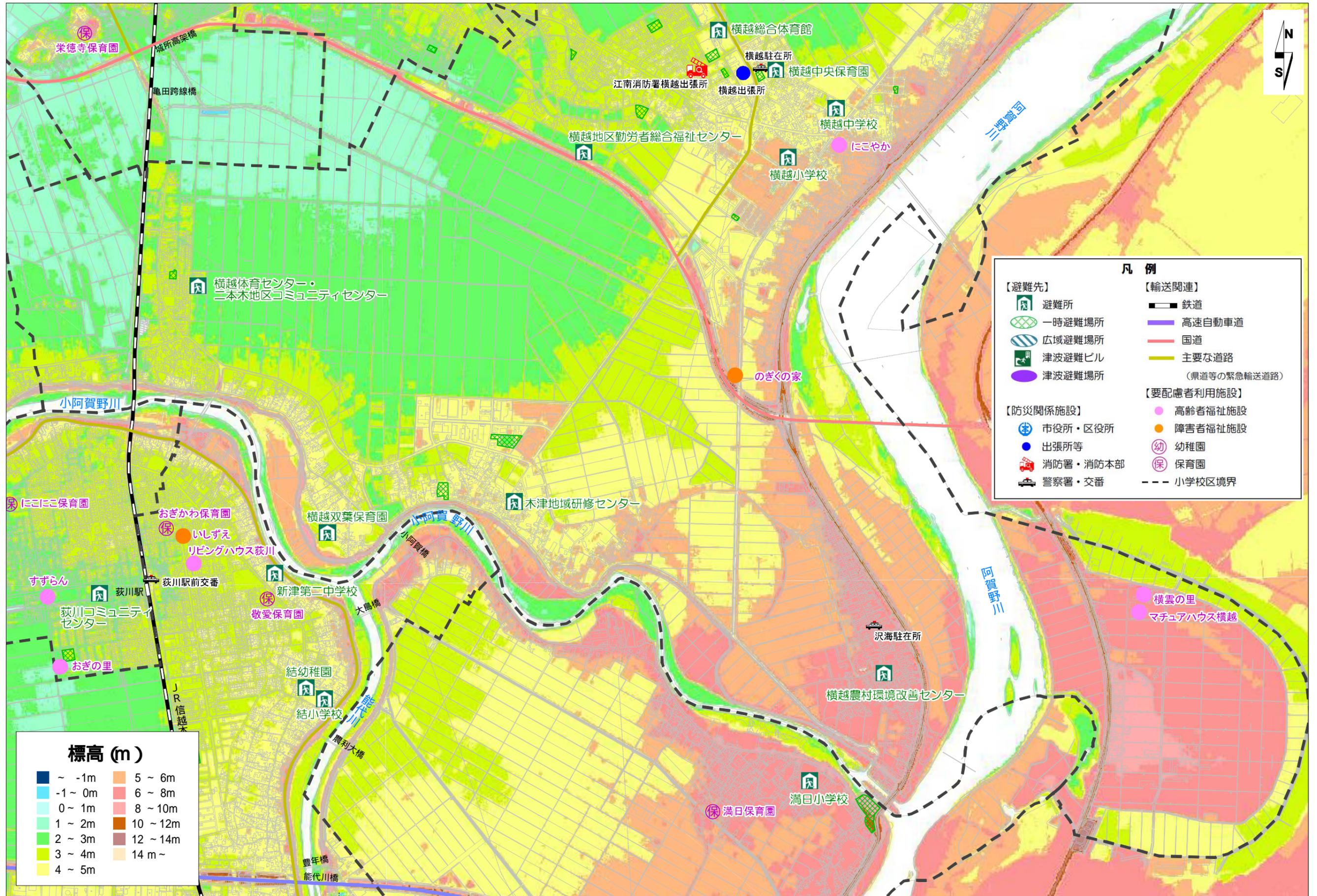






[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)  
5mメッシュDEM (国土地理院,平成25年)



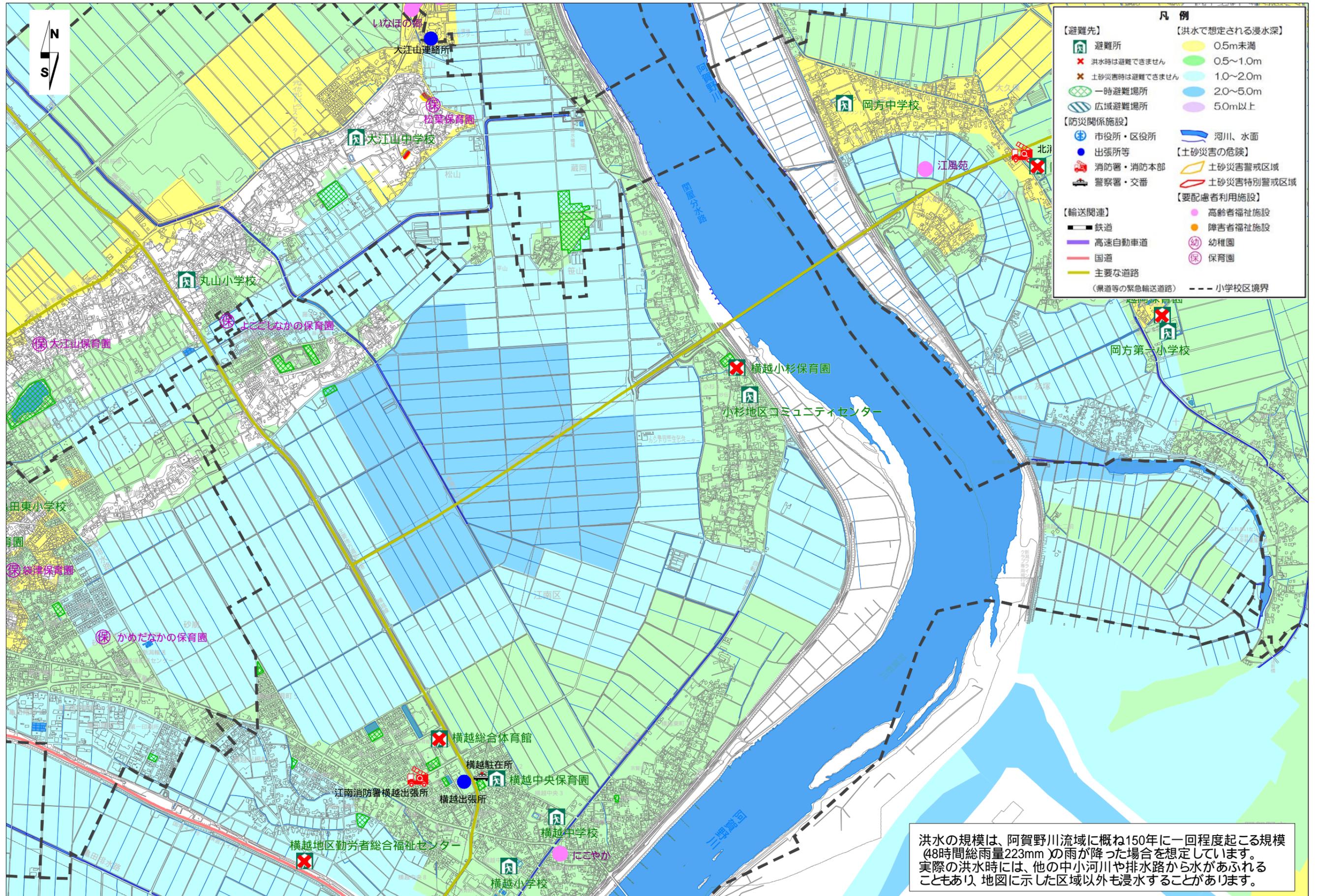


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)  
5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)



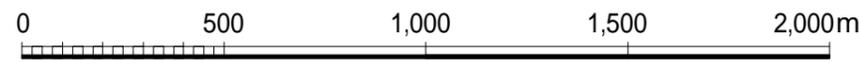
様式6-1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（阿賀野川）

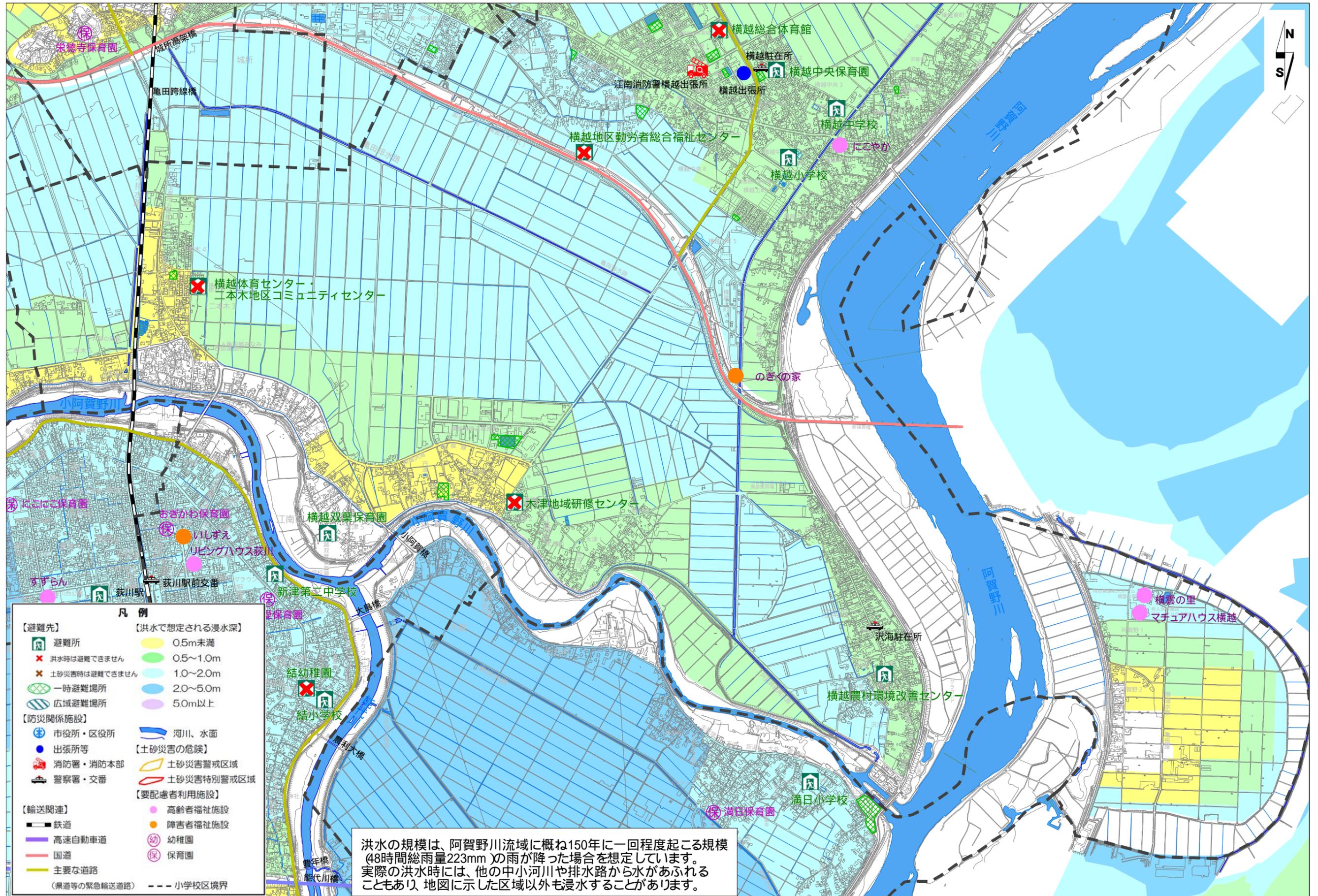
横越小学校区(1)



洪水の規模は、阿賀野川流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量223mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
阿賀野川浸水想定区域(国土交通省,平成14年1月31日)



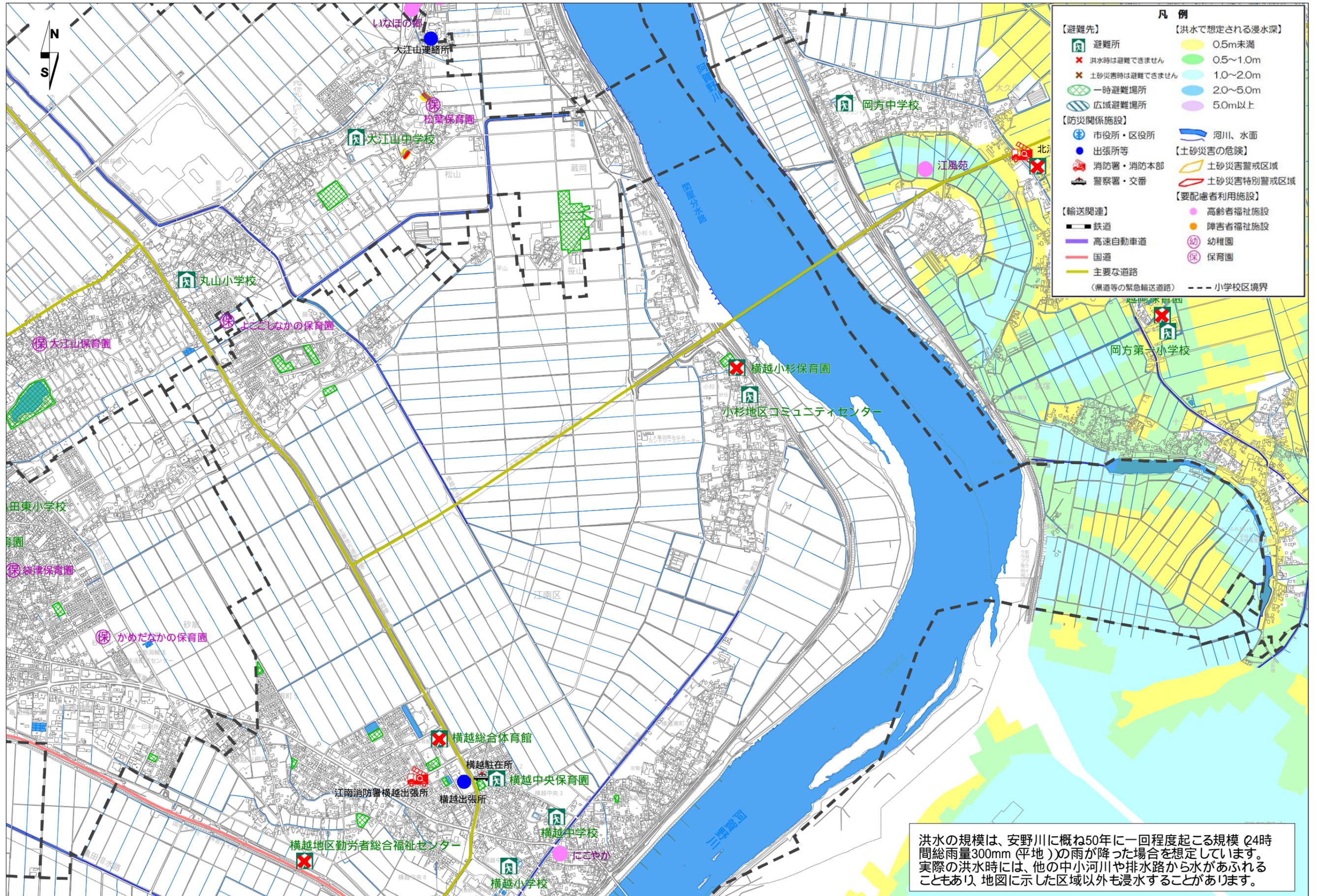


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
阿賀野川浸水想定区域(国土交通省,平成14年1月31日)



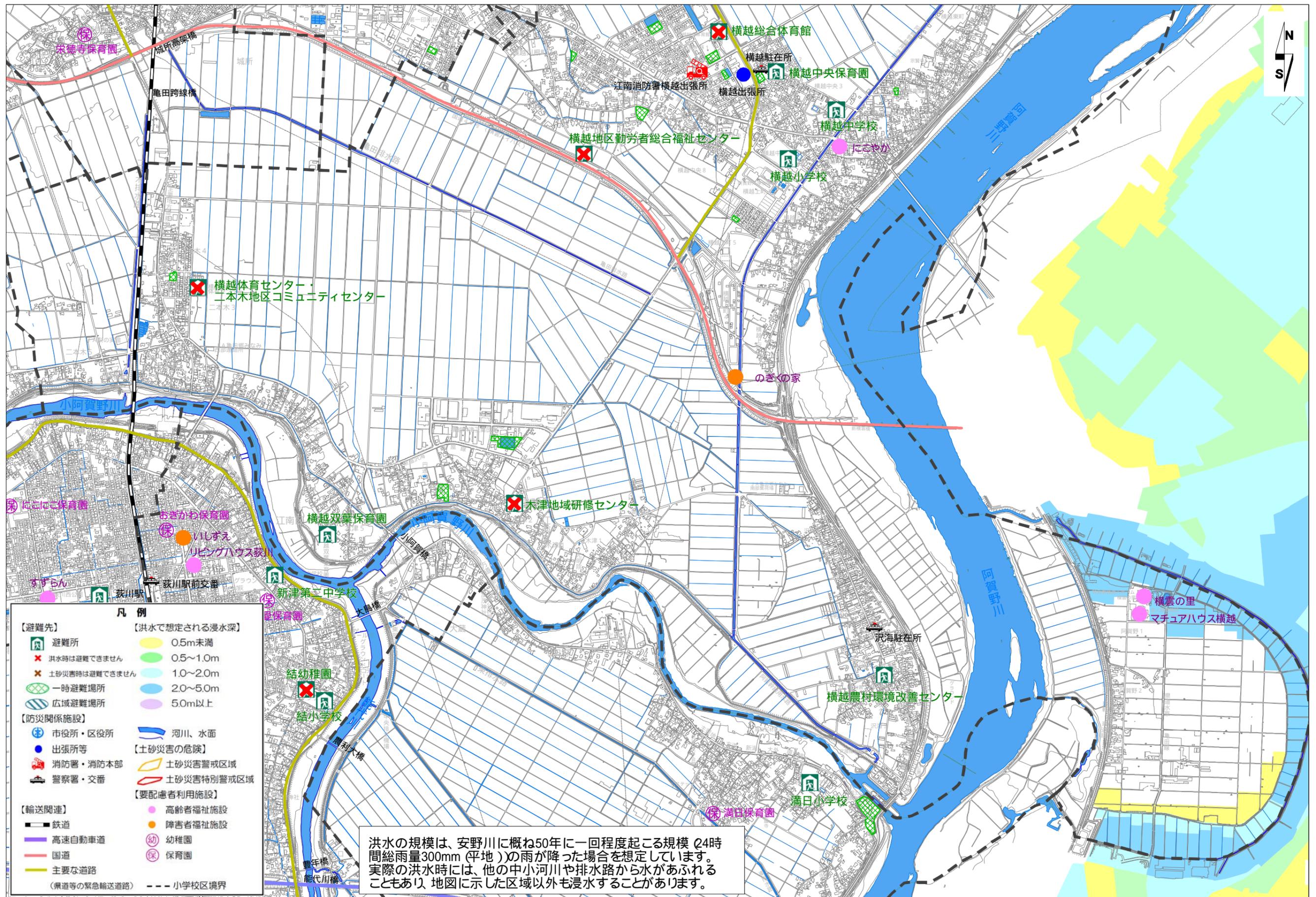
様式6-2 風水害(洪水・土砂災害)対策地図(安野川)

横越小学校区(1)



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
安野川浸水想定区域(新潟県,平成21年8月21日)

0 500 1,000 1,500 2,000m



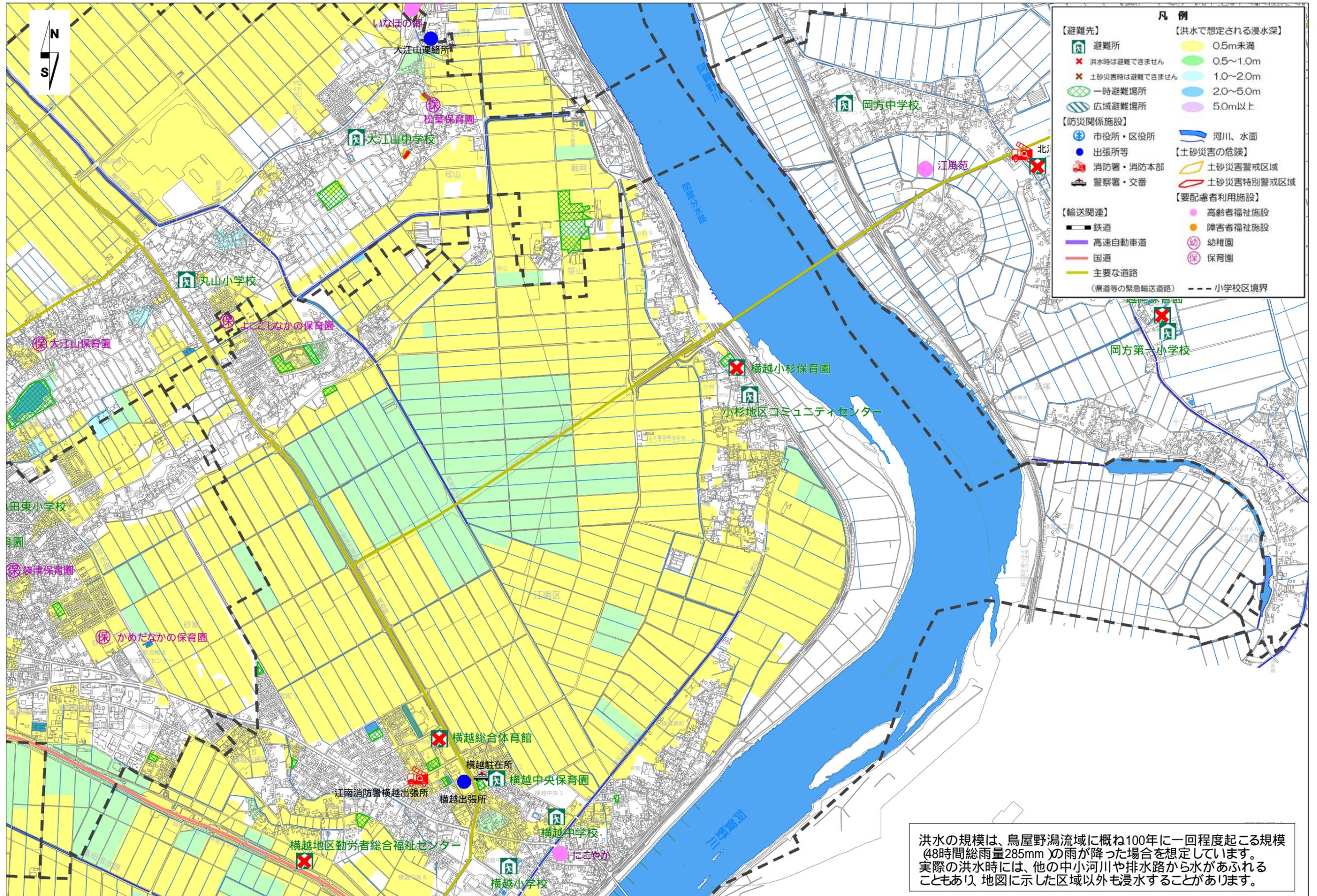
洪水の規模は、安野川に概ね50年に一回程度起こる規模 24時間総雨量300mm(平地)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年) 安野川浸水想定区域(新潟県,平成21年8月21日)



様式6-3 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（栗ノ木川上流・鳥屋野潟・鳥屋野潟放水路）

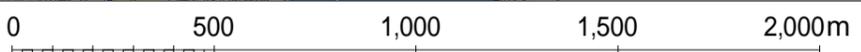
横越小学校区(1)

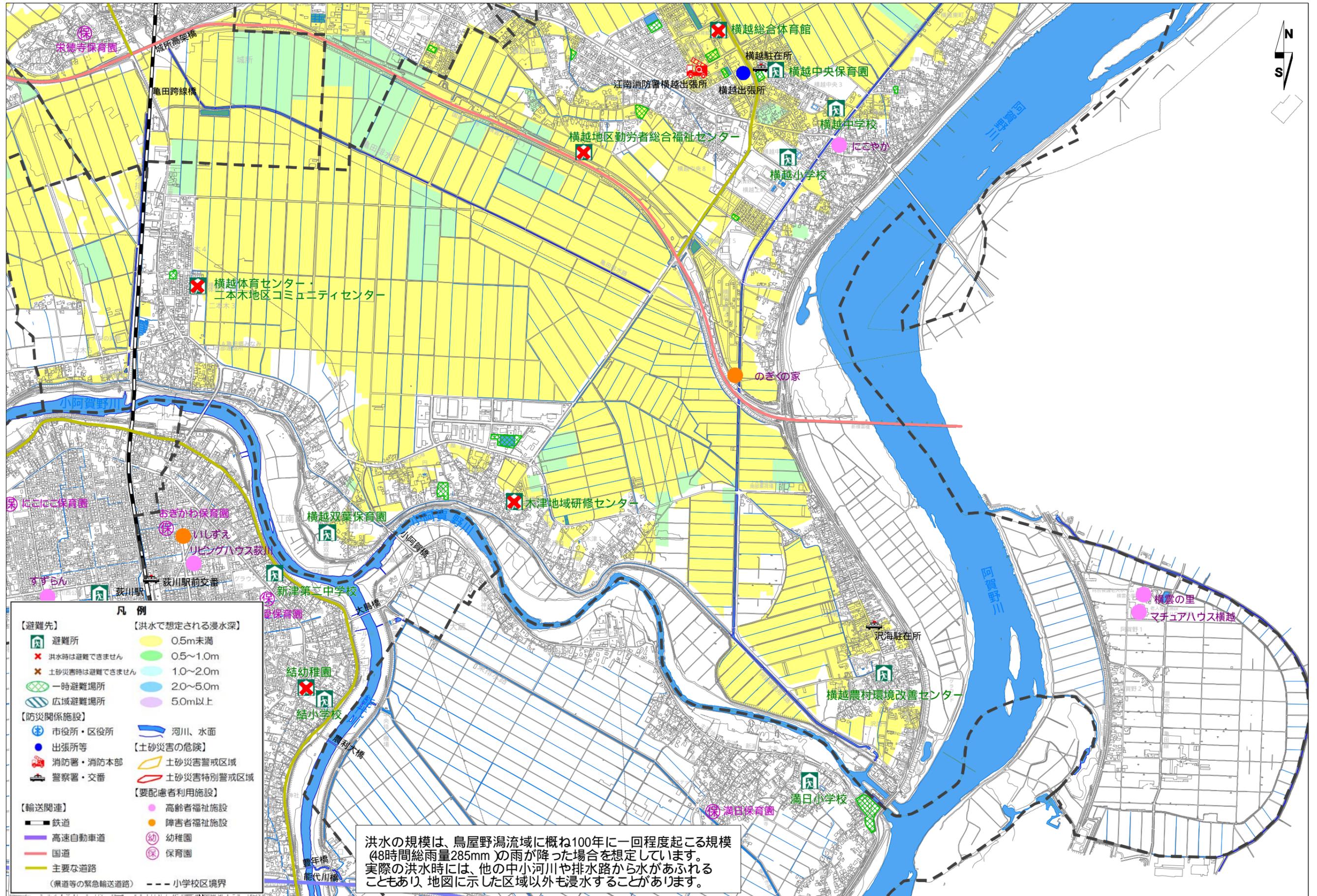


凡例	
【避難先】	【洪水で想定される浸水深】
避難所	0.5m未満
洪水時は避難できません	0.5~1.0m
土砂災害時は避難できません	1.0~2.0m
一時避難場所	2.0~5.0m
広域避難場所	5.0m以上
【防災関係施設】	河川、水面
市役所・区役所	【土砂災害の危険】
出張所等	土砂災害警戒区域
消防署・消防本部	土砂災害特別警戒区域
警察署・交番	【要配慮者利用施設】
【輸送関連】	高齢者福祉施設
鉄道	障害者福祉施設
高速自動車道	幼稚園
国道	保育園
主要な道路	(県道等の緊急輸送道路)
	--- 小学校区境界

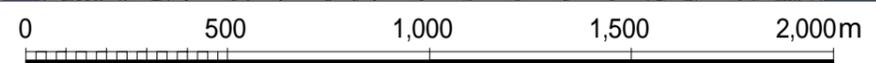
洪水の規模は、鳥屋野潟流域に概ね100年に一回程度起こる規模(48時間総雨量285mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
栗ノ木川上流・鳥屋野潟・鳥屋野潟放水路浸水想定区域(新潟県,平成18年8月25日)



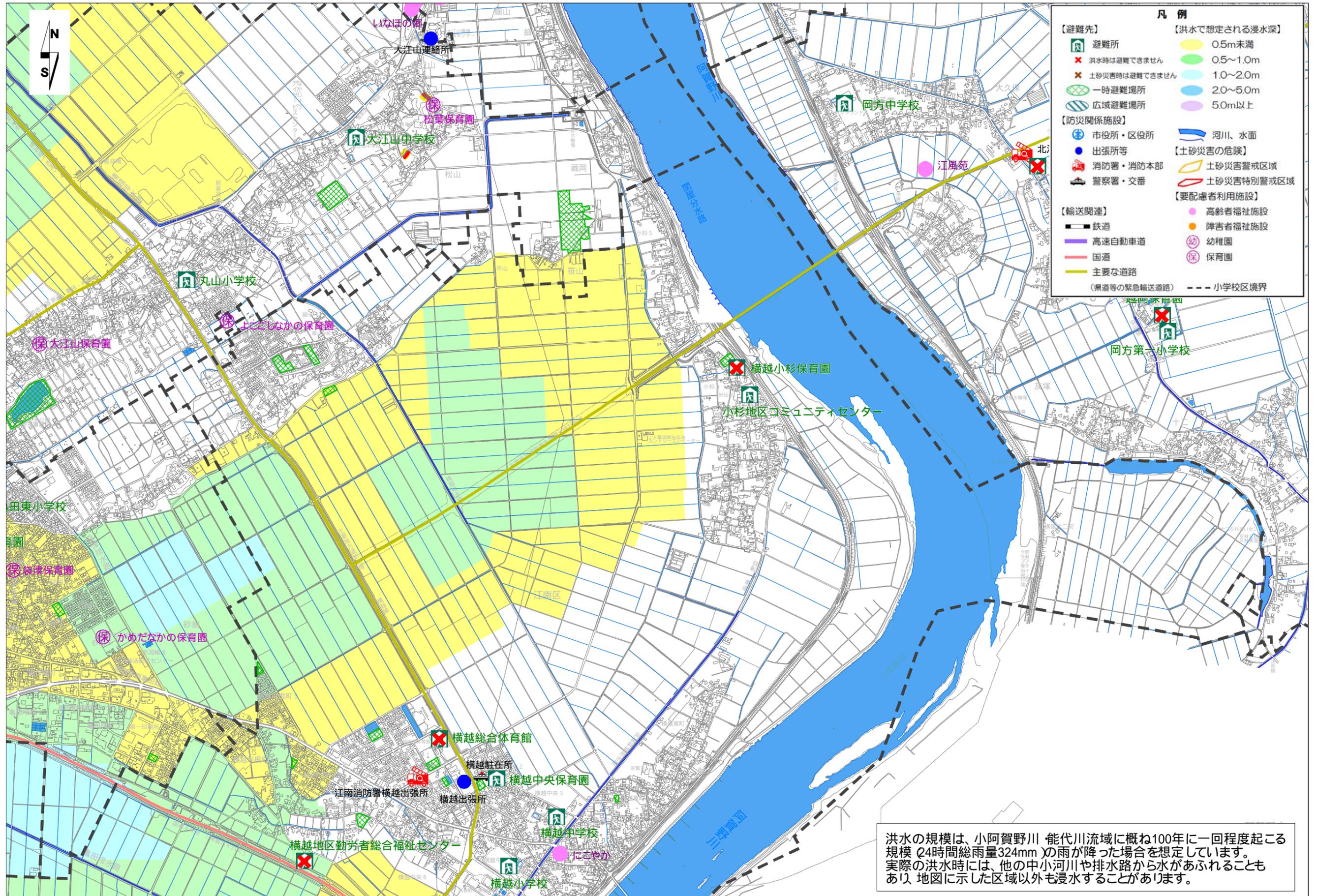


【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
 栗ノ木川上流・鳥屋野潟・鳥屋野潟放水路浸水想定区域(新潟県,平成18年8月25日)

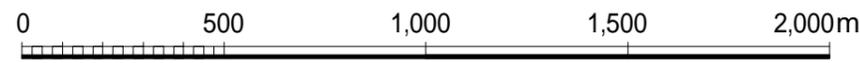


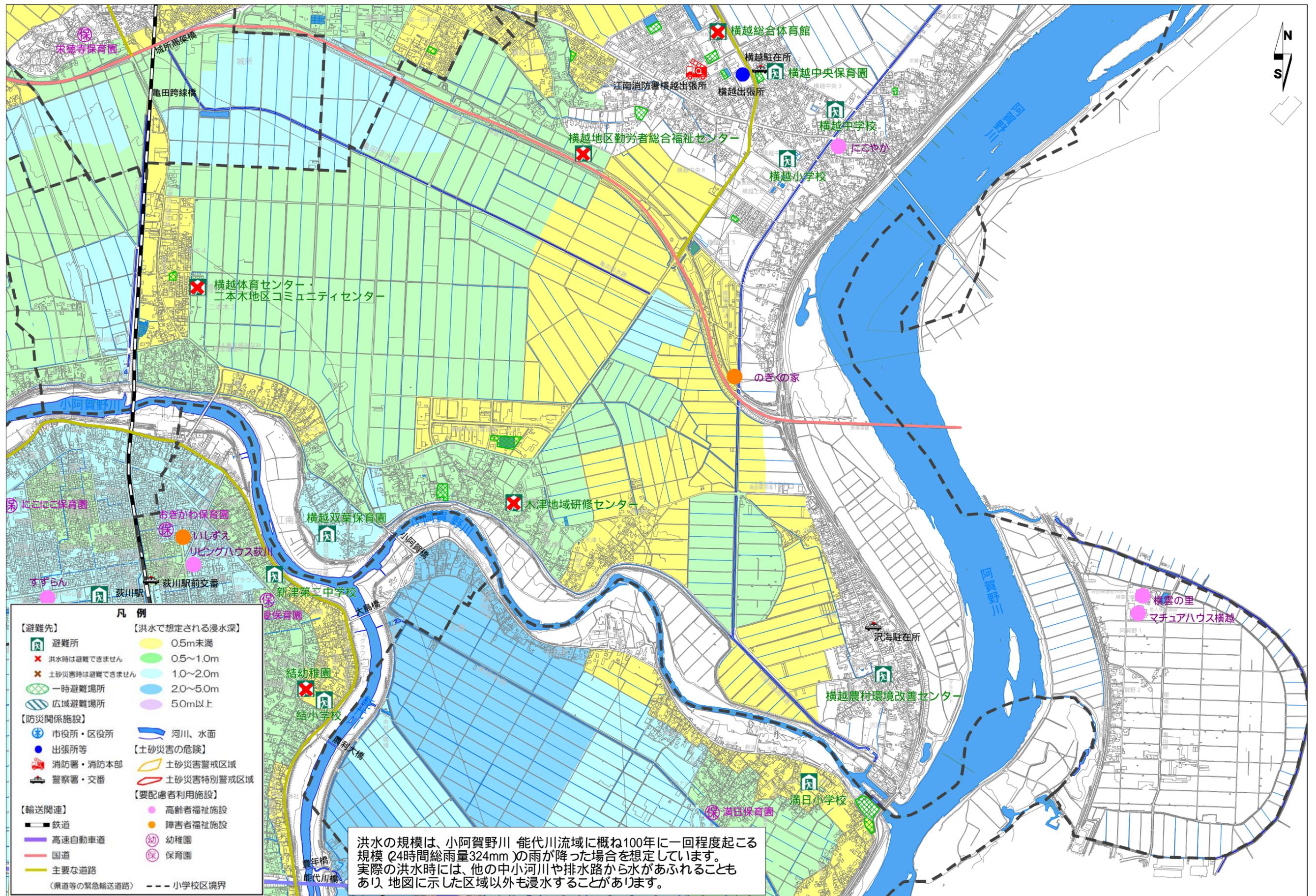
様式6-4 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（小阿賀野川・能代川）

横越小学校区(1)



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
小阿賀野川・能代川浸水想定区域(新潟県,平成16年6月23日)





[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
小阿賀野川・能代川浸水想定区域(新潟県,平成16年6月23日)

